

平岸を訪ねて

平岸中央商店街振興組合



毎年7月に行われる平岸郷土芸能祭の様子

区内9つの各地区の魅力を紹介してきた「とよひら再発見」。最終回となる今回は、平岸地区のまちづくり活動や企業の取り組みを紹介します。

平岸の開拓とリンゴ

平岸地区は、明治4年に岩手県から入植した人たちの手で開拓が始められました。そのころ、開拓使が苗木を配布したことからリンゴの栽培が始まり、栽培面積はどんどん増えていきました。

平岸のリンゴ園では天候に左右されない品質を目指し、地域一丸となって栽培方法の研究を行いました。昭和11年ごろには、「平岸リンゴ」や「札幌リンゴ」の名で親しまれ、シンガポールにまで輸出されるようになります。しかし、昭和後期、リンゴ園は都市化の波に飲み込まれ、次々と姿を消していきました。

地域の結び付き

今では平岸地区は住宅街、商業街として発展し、便利で住みやすいまちになりましたが、リンゴ園が広がっていたころに生まれた地域の結び付きは、今もなお残っています。地域のお祭りやYOSA KOIソーラン祭り平岸会場の運営などで、町内会も企業も一体となって協力しているのは、そんな理由があるからです。

住民のアイデア満載！ 平岸会館完成

昨年12月、平岸会館がリニューアルオープン。住民の皆さんのアイデアがふんだんに盛り込まれ、まちづくりの拠点として幅広く活用できるよう工夫が凝らされています。

さらに便利な会館に

改築に当たり、地域住民の皆さんがワークショップを実施し、基本設計の段階から参加しました。



▲リニューアルした平岸会館・平岸まちづくりセンター



▲昨年行われたワークショップの様子。8グループに分かれ、真剣に議論しました。

ワークショップでは、もっと便利で幅広い活動に利用できる会館を目指して皆さんのアイデアが出されました。「子どもやお年寄りに配慮した造りにする」「集会室を多目的に利用できるようにする」「災害時にも地域の拠点

として活用する」といった意見が多く出され、設計に取り入れられています。

地域の活動拠点として

完成した会館は、まちづくりセンターのほか、福祉のまち推進センターを併設し、気軽に利用できる情報交流スペースもあります。集会室は貸し出しも行っており、さまざまな活動に利用できます。貸し出しをご希望の方は、平岸まちづくりセンターまでお問い合わせください。



▲平岸会館で活動中のフラダンスサークル「フレンドリー」の皆さん。楽しみながら練習に励んでいます。



平岸会館
平岸まちづくりセンター
所平岸2条7丁目2-5
☎811-9545
地下鉄南北線「平岸駅」
から徒歩3分